



くみあいたより

JAなんぼる



JAなんぼるホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

令和3年産新米収穫スタート！

9月上旬頃より町内全域で水稻の収穫作業が一斉に始まりました。今年は、天候に恵まれた

稲圃場で、黄金色に仕上がった稲穂が目に残りました。

事もあり例年に比べ早く成熟時期を迎えました。収穫はゆめぴりかを中心とした圃場より始められ、コンバインが一斉に稼働を始めていま

9月7日（火）よりライスターミナルの受け入れ作業が開始され、生産者が収穫した玄米を載せたトラックにより長蛇の列が出来ました。

た。10月には大半の組合員が無事収穫を終え安心した様子が窺えました。生産者からは「例年に比べてずいぶん早く収穫が始まった」との声も聞かれました。取材時には、町内各所の水

水稻の収穫時期が早まったこともあり、今年の操業は昨年より1週間程早く始まりました。秋作業が繁忙期を迎えていますので、焦らず作業中の事故に十分注意して下さい。

水稻の稔実状態を調査

8月26日（木）・27日（金）、町内水稻圃場で不稔調査を行いました。調査には、役場・普及センター・JA各職員が出席し、32圃場よりサンプルを採取し、総粒数と不稔粒数を数え、不稔率を調査しました。

町内平均の総粒数は、35,504粒/m²と平年値と同等の数値となり、不稔率が、4.7%と例年に比べかなり低い結果となりました。

なお、品種毎の不稔率は、「きびぶらさや」が4.6%、「ななつぼし」が4.4%、「ゆめぴりか」が4.6%、「きたくりん」が6.8%となりました。



令和4年産秋まき小麦播種の前に

8月27日（金）、J A 3階大会議室で小麦播種前講習会が開催されました。

今回の講習会では講師として、ホクレン農業総合研究所営農支援センター池口特任技監、ホクレン農業協同組合連合会岩見沢支所営農支援室大上技師、空知農業改善普及センター空知南西部支所植松専門普及指導員、クミアイ化学工業株式会社国内営業本部札幌支店販売課石田様、J A なんぼろ資材課長船技師の5名に講義を行っていただきました。

池口特任技監からは「小麦安定生産のための栽培法について」、大上技師からは「コムギ縮萎病に関する試験結果報告及びカットブレーカ施工による圃場透排水性の改善について」、植

松専門普及指導員からは「令和3年産秋まき小麦の生育概要と令和4年産の技術対応」及び「令和3年産秋まき小麦縮萎病追跡調査について」、石田様からは「秋まき小麦用除草剤キタシーブフロアブルについて」、長船技師からは「令和3年産秋まき小麦を振り返って」と題してお話をいただきました。また、講習会終了後には、当J A グリーンセンターにおいてカットブレーカの展示を行いました。

当日は、26名の組合員が出席し来年産小麦播種に向けて真剣に話を聞き良い講習会となりました。



水稻育苗ハウスで施設園芸

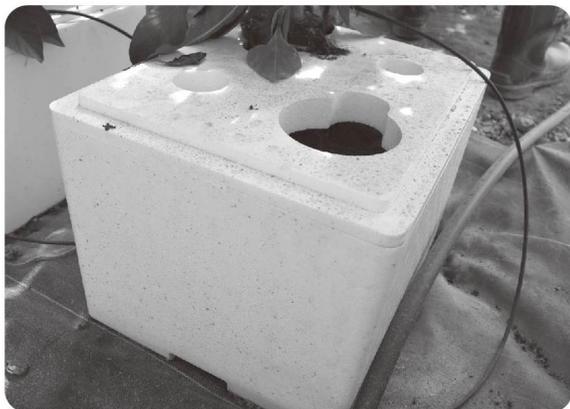
本年より蔬菜園芸課の事業の一つとして水稻育苗後のハウスの有効活用のためのトロボンボ液栽培システム（ういずOne）の栽培実証試験を垂水隆志氏的水稻育苗ハウスで実施しました。

トロボンボ液栽培システム（ういずOne）とは、ハウスの土壌から隔離した状態で栽培を行い施肥管理はすべて液肥で行う栽培システムとなっており、隔離栽培のためハウス内の土壌が栽培による影響を受けない利点があることから水稻育苗後のハウスでの施設園芸を可能にし

ています。

栽培は発泡スチロール製の箱で行われており、ういずOneの機材からホースが各々の箱へ伸び時間設定で定時になると給水が行われていました。今回の試験では、ピーマンの作付けを行い、取材時の9月7日には、隣接する土耕栽培のピーマンと背丈が変わらないくらい生育していました。

水稻育苗ハウスの有効活用に今後期待出来るかもしれません。



年金相談会の開催について

開催日時：令和3年**10月16日**(土) 午前9時30分～午後3時00分

開催場所：JAバンクなんぼろ

※社会保険労務士の先生が当JAに来所します。年金に関する疑問を解決する良い機会ですので、都合の良い時間帯にマスク着用の上お越し下さい。

※ご相談の際には、年金定期便又は年金請求書(日本年金機構から送付された書類)・年金証書・年金手帳・雇用保険被保険者証・認め印・配偶者の方の年金証書・年金手帳等をご持参下さい。

JAバンクなんぼろ 電話：378-1891

長船技師による営農情報！



★施肥の効率を高めましょう

農業生産コストの中で肥料費の占める割合は高く、いかに施肥効率を向上させ生産性を上げていくかが重要です。今回は施肥効率を上げる方法を紹介します。

1 肥料が効く環境条件を整える

- (1) 土壌分析を行い、PHが低い場合は目標改良値に矯正します。又、圃場の透排水性改善が重要です。
- (2) 根域またはその近くに肥料を配置する(局所施肥)。
- (3) 作物の吸収時期に合わせて肥料を効かせます(適期施肥)。
- (4) 養液土耕は、点滴チューブを用いて肥料と水を同時与える栽培法で施肥の効率化と灌水作業の省力化が期待できます。

2 効果的な施肥方法

- (1) 水稻側条施肥では、稲株の近くに施肥することにより初期生育を促進します。
- (2) 肥効調節型肥料(緩効性肥料)については、肥効が現れ始める時期や持続する期間が異なる多くの種類があるので、作物の生育経過に合わせた養分供給が可能な種類を選びます。

3 キャベツの効率的施肥法の具体例

- (1) 全面全層施肥のキャベツは、作条施肥により窒素施肥を3割程度削減する事ができます。(表2)
- (2) 作条施肥の施肥窒素利用率は概ね60~80%の範囲にあり、全面全層施肥に優ります。
- (3) 晩春まきの作型では基肥に重点配分をおいた施肥配分で、初夏まきでは基肥と分肥を同量とする配分で、それぞれ全面全層施肥とほぼ、同等の規格内収量を得られます。
- (4) キャベツやはくさいなどを対象に、施肥と畦立作業を1工程で行い、畦内の作物根が広がる範囲だけ肥料を施用する「畦内部分施肥機」が開発、市販され全面全層施肥に対して、3割減肥可能です。

表1 作物による利用効率の高い施肥法の例

作物	施肥法	
	根域近傍への施肥(局所施肥)	作物吸収に合わせた施肥
普通畑	側条施肥、育苗箱施肥*	肥効調節型肥料
水稻	作条施肥	追肥重点施肥
露地野菜	作条施肥、育苗ポット施肥** うね内部分施肥(図1)	肥効調節型肥料
施設野菜	育苗ポット施肥	肥効調節型肥料、養液土耕

*水稻の育苗箱内に本田期間中の肥料をあらかじめ施用、濃度障害を回避するため肥効調節型肥料を使用
**育苗時に初期溶出抑制肥効調節型肥料をポット内に施肥

表2 作条施肥によるキャベツの窒素3割減肥(中央農試、1999)

施肥位置	窒素施肥(kg/10a)			規格内収量比				施肥窒素利用率(%)
				晩春まき		初夏まき		
	基肥	分施	合計	火山性土	低地土	火山性土	低地土	
全面全層(対照)	15.4	6.6	22.0	100	100	100	100	44~59
作条	11.0	4.4	15.4	102	101	92	91	60~81
	7.7	7.7	15.4	93	89	96	97	66~82



図1 露地野菜作における施肥位置(肥料高騰に対応した施肥改善等に関する検討会資料、農水省、2009)

理事会報告

9月10日

9月定例理事会で審議された主な内容について、次のおり報告申し上げます。

【議案】

1、令和3年産小麦の共同計算精算方針の設定について

2、出資金の減口について

【報告事項】

1、第5回 営農振興組合長会議の開催結果について

2、農産物の生育状況について

3、令和3年度 畑作物の直接支払交付金における営農継続支払交付金について

4、令和3年産米の系統共計契約について

5、令和3年産 特定低品位米の仮渡金支払いについて

6、8月末 農産物保管状況について

7、8月末 蔬菜販売状況について

8、令和3年度 南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設小麦操業状況について

9、8月期 J A ローンの貸付について

10、令和3年度 J A 共済コンプライアンス点検結果について

11、内部監査の実施報告について

12、令和3年度 8月末組合員の異動状況について

13、令和3年度 第2四半期の固定資産取得および処分について

14、リスク情報について

15、コンプライアンス研修会の開催について

16、8月末 財務状況について

～表紙の紹介～

◎今月号は、広瀬 範夫さん（鶴城）に表紙を飾っていただきました。



南幌町 フォトコーナー



長ネギ収穫作業(南NOAH)



大豆を迎えた落葉

私達のJA

令和3年8月末日現在

組合員 (前年同期比)	2,721名 ▲28名
正組合員 (前年同期比)	450名 ▲1名
准組合員 (前年同期比)	2,271名 ▲27名
正組合員戸数 (前年同期比)	281戸 ▲4戸

編集後記

このところ朝晩と肌寒く感じられる日が多くなり秋の訪れを感じられるようになってきました。食欲の秋ですが、吉田は食べ過ぎないように気をつけたいと思います。

くみあいだより担当の吉田は、秋の味覚鮭を釣り上げました！旬な魚は、美味しかったです。

